

室内用

電波時計 取扱説明書

(置時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保管して必要に応じてご覧ください。

もくじ

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください	2
2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）	3
3. 電池の交換について	3
4. 電波時計について	4
5. 各部の名称と役割	5
明暗センサーのはたらき	
6. ご使用方法	6
静電気の影響について	
設置について	
7. 標準電波一受信の流れとサーチ機能の使いかた	7
8. 標準電波を受信できない場合	8
手動での時刻合わせ	
9. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作	9
10. 電池・製品の廃棄	10
11. お手入れについて	10
12. おもな製品仕様	10
13. アフターサービスについて	11
お問い合わせ先	
保証書	裏表紙

製造 発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<https://www.rhythm.co.jp>


1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください


ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○ 禁止(してはいけないこと)を示しています。

❗ 指示する行為を必ず守ることを示しています。


警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る


- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。


 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。


 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。


注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容


 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

 めれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

 下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ● ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示の使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きの電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなる場合があります。

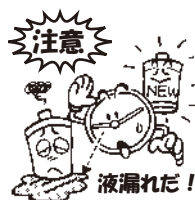
3. 電池の交換について

電池の残量が少なくなると、**強制受信**を押したときや自動受信を開始したときに、針が動いたままになったり、不規則な動きをすることがあります。このようなときには、電池を交換してください。

⚠ 注意 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池が液漏れを起こすと時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が止まったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。



4. 電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(<http://jjy.nict.go.jp>)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

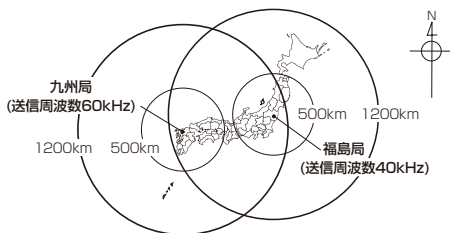
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

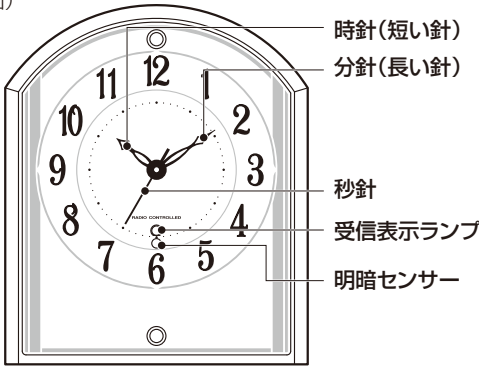
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



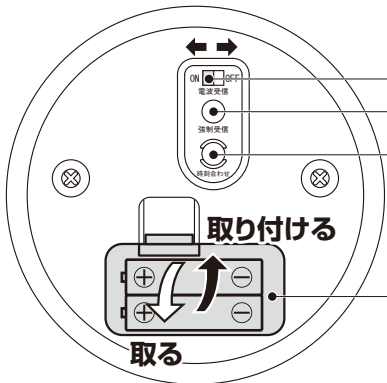
5. 各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

(正面)



(裏面操作部)



電波受信スイッチ

ON : 電波を受信して時刻を修正。
OFF : 電波を受信しません。

強制受信

電池を入れたとき、場所を移動したときなどに押します。

時刻合わせ

受信できないときなど、手動で時刻合わせをするときに使います。**不用意に押すと時刻が変わります。**

電池ふた

電池ふたを取り外し、単4形アルカリ乾電池2個(推奨)を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れ、電池ふたを取り付けてください。



注意

電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に停止し、受信表示ランプは消灯します。

昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足すると明暗センサーが反応します。

6. ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ** (P.8)を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

- 1 電波受信スイッチをONにする
- 2 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
- 3 強制受信を押す

「7. 標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた」(P.7) 参照
受信表示ランプが3秒間点灯して受信を開始します。

針は早送りで4、8、12時のいずれかの時刻に移動して受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は必ず**強制受信**を押してください。

※受信中はボタン操作をしないでください。

- 4 16分待って受信結果を確認する

受信が終わると針が動き出します。受信表示ランプが2秒に1回点滅すれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので電波サーチ機能で受信するところを探るか、「8. 標準電波を受信できない場合」(P.8)を参照してください。

※受信に失敗したときは、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて**強制受信**を押してください。

※**受信表示ランプ**は、24～25時間以内の受信結果を表示します。

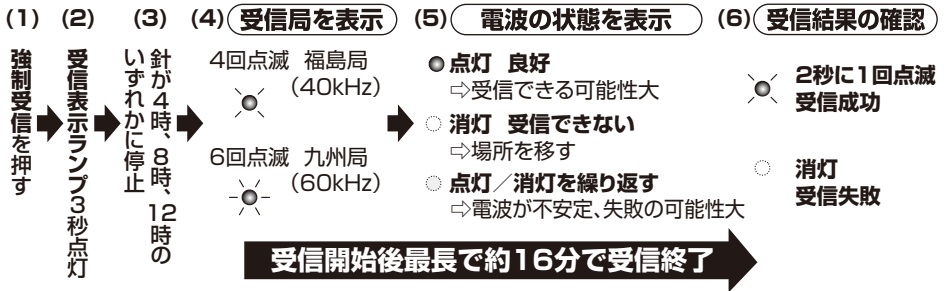
静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**強制受信**を押してください。

設置について

時計の転倒や落下による家具などの破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところに設置してください。

7. 標準電波一受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた……………電波を受信しやすい所を探すには

- ①窓際やベランダで(5)まで行い、**受信表示ランプ**が点灯していることを確認します。
受信表示ランプが消灯しているときは受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
- ②時計を設置場所に移動してから**受信表示ランプ**で受信状態を見ます。
受信表示ランプが点灯しないときは、場所により電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

8. 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻を合わせて一晩そのままにしておく
と受信できる可能性が高くなります。1～2日後に受信結果を確認してください。

●場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考にして時計の正面また
は裏面を電波の送信所に向くようにして**強制受信**を押してください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせてからご使用くだ
さい。電波を受信できないときの時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ…電波が受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

※**時刻合わせ**を押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになっ
てから操作してください。

※電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

操作 ○**時刻合わせ**を押してすぐに離すと1分進みます。

○**時刻合わせ**を押し続けると早送りで動きます。

時刻合わせを押し続けると秒針は12時位置に停止します。

秒は**時刻合わせ**を離れたときにゼロ秒に設定されます。秒針が12時位置に止まっていない
ときは、早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

9. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

任意の時刻に設定してお使いになるときや誤受信しやすいところで使用になるときは、**電波受信スイッチ**で電波受信機能をOFFにすることができます。

ON：定期的に標準電波を受信。受信に成功すると時刻を修正する。

OFF：電波の受信を行わない。時刻の遅れ進みは、手動で修正してください。

- 電波受信スイッチ**をOFFにして**強制受信**を押すと、ONのときと同様な状態になりますが受信をしません。必要に応じて手動で時刻を合わせてください。
- 電波受信スイッチ**をONにしたときには、必ず**強制受信**を押してください。
- 受信表示ランプ**が2秒に1回点滅しているときに、**電波受信スイッチ**をOFFにしても、最長で24～25時間点滅することがあります。

こんなときには

- 電波受信スイッチ**をONにして、**強制受信**を押しても**受信表示ランプ**が点灯しない。

正常に戻すには、次の操作をしてください。

時刻合わせを押したままで**強制受信**を押してすぐ離し、**時刻合わせ**を離します。その後に、必ず**強制受信**を押してください。



10. 電池・製品の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

11. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 大理石を使用しているものは、ジュースなどの酸性液が付着すると損傷を与えます。付着したときは、からぶきしてよく落としてください。

※木や大理石などの天然素材を使用しているものは、木目や大理石の模様、色合いなどが商品ごとに異なることがあります。また、経年劣化により色合いや艶が変化することがあります。

12. おもな製品仕様

使用温度範囲	-10 ~ 50℃	*結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	秒針±1秒 時分針 目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しない場合	平均月差±20秒 (温度が5~35℃のときのクォーツ精度)
推奨電池	単4形アルカリ乾電池 JIS規格 LR03 1.5V 2個	
電池寿命	約1年 (標準電波の受信に成功して暗所で秒針が8時間/日停止しているとき)	
暗所秒針停止	明暗センサーと連動	秒針が12時位置に停止して受信表示ランプが消灯
電波受信機能	標準電波受信による時刻修正	
受信局	福島局/九州局 自動選択	
受信ON/OFF	スライドスイッチ	
受信回数	最少1回/日、最多6回/日	
受信開始時刻	2時、3時、4時、12時、13時、14時各時間帯の16分20秒に受信開始。 受信回数は受信状態により変化するが、2時16分20秒は必ず行う。	
防滴防塵機能	なし	

※付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱しますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

13. アフターサービスについて

時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

ご使用方法やアフターサービスについてのご相談は、お客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、本体裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 4RY○○○、8RY○○○

(フリーダイヤル)

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

付属品 お試用電池 2個、取扱説明書・保証書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますので、ご了承ください。

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名 様

住所

TEL() -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■ 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換